

【活動報告】 令和 7 年度口腔ケアのための連携推進研修会

日時：令和 8 年 2 月 1 日 日曜日 10 時～12 時

場所：小倉歯科医師会館

題名：全身の姿勢と活動の視点から食べることを支える口腔ケアの実践

講師：森下 元賀

令和健康科学大学リハビリテーション学部 理学療法学科 教授

北九州歯科医師会が企画されるこの研修会が上記の通り開催されました。言語聴覚士は嚥下障害にアプローチできる職種として、研修会の案内をいただきました。歯科医師、歯科衛生士、看護師、リハビリテーション療法士、管理栄養士、介護関連職など様々な職種の方が約 100 名参加され、言語聴覚士は北九州ブロックの病院、施設を中心に 17 名の方が参加されました。

この研修会では、嚥下障害の概要、身体の構造と嚥下の重要な関り、姿勢（ポジショニング）の重要性を詳しくご紹介いただき、安楽で効果的なアプローチを学ぶことができました。研修会当日は、車いす、バスタオル、クッションなど身近な物品を用いてポジショニング調整の実技も行い、座学で学んだ内容をすぐに実践形式で体験することで理解が進みやすい研修会でした。

日ごろの業務に使いやすい知識・技術が学べ、楽しみやすい研修会であると思います。次年度も開催予定と聞いております。皆様、ぜひ一度参加されてみてください。

地域包括ケア推進局

畑 聡一郎



